

令和3年10月1日

3年生保護者様

丹波篠山市立今田中学校
校長 田端俊典

丹波篠山市立今田中学校 学習や生活に関する学力向上プラン

丹波篠山市学力・学習状況調査及び全国学力・学習状況調査は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。

本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえつつ、結果をもとに授業改善等を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、学校の教育活動に対して支援いただければありがたいと思います。

全国学力・学習状況調査、丹波篠山市生活習慣状況調査結果の概要

○国語科

全国や兵庫県平均を上回り良好な結果となっています。特に「言語・国語の特質」の領域は8割を超える正答率でした。2年前課題として挙がっていた「読む」の領域に関しても、全国より7P以上上回るという成果が見られました。「話す・聞く」の領域が1P平均を下回っておりました。

○数学科

全国平均正答率と比較すると、ほぼ同等の結果となっています。「数と式」「図形」においては全国平均正答率を上回っており、計算技能や図形についての知識が身につけていると考えられます。ただし、「関数」「資料の活用」においては全国平均正答率を下回っており、課題が見られます。

○生活状況調査

調査全体を通して良好です。特に生徒たちの規範意識は高く、生徒間の支えもあり、教師との信頼関係は良好です。課題としては生活面で、「平日は何時頃寝ますか」という質問に対して約4割の生徒が夜の12時頃と回答していました。また、インターネットの視聴やゲームを行う時間については、約4割の生徒が3時間を超えていました。

課題および今後の学力・生活習慣向上方策

○国語科

毎日の漢字ノートや小テストなどの成果や、授業の活動に対して真面目に取り組んできた成果が表れています。課題としてあげている「話す・聞く」に関しても2年前より向上が見られます。今後も、毎日のコツコツとした積み上げやメモを取る習慣、授業で考える習慣、自分の意見を自分の言葉で発表する習慣を身につけることを続けていきたいと思えます。

○数学科

関数関係を見つれたり、資料を比較したり、資料を基に説明したりする問題が苦手な傾向にあります。授業においてICT等を活用し、苦手な問題に意欲的に取り組むとともに、理由や根拠をもって答える機会を多く設定し、説明する力を伸ばしたいと考えています。

○生活状況調査

生活習慣などで、課題がある生徒に対して教育相談を行い、場合によっては保護者に協力を依頼します。また、フォーサイトノートを使用して、生活習慣や学習習慣の改善を支援していきます。

裏面へ

保護者の皆様へ お知らせとお願い

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習のあり方や生活習慣について、指導・支援方法を検証し、取り組みを充実していきます。

ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習のあり方や生活習慣について、今一度、ご確認いただき支援をよろしくお願いいたします。

3年生はこれから進路選択・決定の時期を迎えます。ご家庭でもよく話し合ってください、子どもたちが、目標をもち前向きに取り組めることができるよう、ご家庭と学校がさらに連携していきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。